

## 第 1 号議案

# 令和 4 年度（2022 年） 事業報告、決算報告及び監査報告の件

## I 事業報告

### 1 総務関係

#### ① 概略

2020 年年初から 3 年越しで感染拡大が継続してきた新型コロナウイルスも、2023 年年初の第 8 波あたりから漸くにして終息へ近づきつつあり、5 月 8 日には政府により感染症のレベルも第 2 類から第 5 類へ引き下げられるに至った。これに伴いマスクの着用なども個人の判断に委ねられる状況とはなったが、令和 4 年度の経済社会活動全般の正常化はなかなか順調には進まず、一進一退であった。

社会全体の活動が制約されるなか、当協会の活動も年度全体を通じて、自主企画イベントや外部との連携・協賛イベントも共に活動困難な状況が継続した。

#### ② 会員慶弔

元副会長の今村忠雄氏が昨年 2022 年 7 月 19 日に逝去されました。同氏の長年に渡る当協会活動へのご貢献に対し深く感謝いたします。

当協会維持会員の協和工業（株）代表取締役会長 近森清氏が同年 10 月 14 日逝去されました。心よりご冥福をお祈りする次第です。

### 2 当協会主催事業

#### ① 会報 Cantuta 発行

4 回（48 号（2022 年 6 月）、49 号（同 9 月）、50 号（同 12 月）、51 号（2023 年 3 月）発行した。会員全員へ冊子版を送付するとともに、国内外のポリビア関係団体へもメール版または冊子を配布した。協会ホームページでも随時見ることができるようにアップロードしている。

#### ② ホームページ・SNS の運営

ホームページは随時更新し、充実を図っている。2022 年 5 月の定時総会で承認された SNS 運用方針に沿って、6 月より当協会公式アカウントで Facebook, Twitter, Instagram の運用を開始し、画像や動画を豊富に取り入れた画面が好評を博して、アクセスも徐々に増加しつつある。

### ③ 講演会開催

2022 年 12 月 17 日 3 年振りの講演会を ZOOM 方式で開催した。当初は新型コロナウイルス第 7 波の感染状況も一応落ち着きを見せ、東京都もマスクの着用や換気の徹底を前提に小規模イベント開催を制限しないとの方針であったため、当協会会員で一般財団法人・日本国際協力システムの大島正裕氏による講演会を企画した。しかし、その後 11 月下旬から 12 月上旬にかけて BA 型第 8 波感染急拡大の兆しが強まったため急遽 ZOOM 方式による講演会に変更して開催した。併せて講演内容は YouTube にアップロードし、HP でも視聴できるようにした。

### ④ 2022 年度理事会・定時総会

2022 年 3 月 24 日（木曜日）に 2021 年度第 3 回理事会をハイブリット式で開催し 2022 年度の事業計画（案）予算（案）を承認。同年 4 月 18 日月曜日に 2021 年度の監査を日比谷六甲クラブにて集合式で実施。同年 5 月 26 日木曜日にハイブリット式で 2022 年度第 1 回理事会を開催し、2021 年度事業報告（案）BS/PL（案）を承認、同日引き続き 2022 年度定時総会を開催、2021 年度事業報告の承認、2022 年度事業計画・予算の報告、任期満了に伴う役員の全員改選、並びに一部退任に伴う補充選任、同日引き続き 2022 年度第 2 回理事会を同じ方式で開催、新任役員 1 名の職務選定を行った。

### ⑤ その他

前 2021 年度に引続き、当 2022 年度も日ボ両国間の人的往来には渡航面の制約が多く、相互の訪問交流も困難な状況が続いていたため、役員などのボリビア訪問も前年に続き中止された。

## 3 他団体主催事業・当協会会員・一般関係者への後援・協賛・協力など

- ① 2022 年 4 月に旅行ガイドブック「地球の歩き方」編集部から図鑑『世界の麺料理』出版に対して、ボリビアの代表的麺料理の解説と写真提供に協力した。
- ② 2022 年 4 月頃、個人会員の中古タイヤ等輸出業者思川物流(株)からボリビア向けトラック用タイヤの輸出先紹介について協力依頼があり対応した。
- ③ 2022 年 5 月にバス組合よりトヨタ・ハイエースマイクロバス新車 100 台の日本のトヨタ自動車(株)からの直接輸入の可能性について、ボリビア日本ボリビア商工会議所会頭の島袋正克氏経由で照会があり必要な情報提供

を行った。

- ② 2022 年 7 月に国学院大学文学部史学科 2 年生服部拓氏から、アマゾン川上流のボリビア北東部ベニ州トリニダ市に近い低地モホス平原に存在したと言われる古代モホス文明の発掘調査関する現地情報の照会があり、当協会大貫良夫理事が対応した。
- ③ 2022 年 9 月に当協会相談役の渡邊英樹氏により、1954 年 8 月に始まった沖縄県人のボリビア移民の歴史を共にした体験を基とする著作『ボリビア開拓記外伝』が琉球新報社から刊行された。
- ④ 2022 年 10 月にラパス訪問の経験のある遠藤恭一氏（非会員）から自身の中学校での講演の参考情報としてボリビアの首都ラパスの消防体制について照会があった。ラパス日本人会元会長の田中清彦氏と当協会椿会長が対応した。（参考情報：当地では消防は国家警察の管轄下で救急と爆発物処理に分れているが、高地で低酸素のため消防隊が出動するような火災は稀であり消防車もかつては日本寄贈の中古消防車があったが中古車の輸入禁止により現在途絶えている。）
- ⑤ 第 62 回海外日系人大会参加（杉浦事務局長）  
2022 年 10 月 22 日 23 日にオンラインで開催され開会式と基調講演に参加した。
- ⑥ 第 7 回世界ウチナンチュ大会参加：於沖縄県那覇市（杉浦事務局長）：  
2022 年 10 月 29 日 JICA 沖縄主催「OKINAWA TO 沖縄ビジネスシンポジウム」第 1 部でのボリビア沖縄県人会会長・比嘉徹氏、第 2 部で（株）伊島代表取締役・島袋正克氏による講演会に参加した。  
同 10 月 30 日前夜祭では世界中の移住先から参集した沖縄県系人による国際通でのパレードの中にボリビアから参加の沖縄県系人と共に参加した。同 31 日には沖縄セルラースタジアムでの本大会へ参加した。

## Ⅱ 決算報告：収支計算書

R4年度末収支計算書(1/2)

令和4(2022)年度決算書					
一般社団法人 日本ポリビア協会					
令和5年3月31日					
(令和4年4月1日-令和5年3月31日 単位：円)					
収入の部					
科 目	令和4年度予算額	令和4年度収入額	対予算 消化率	対予算 増減額	対予算増減額についての備考
会費収入	657,000	826,999	125.9%	169,999	□ は内訳再掲
個人会員	237,000	346,999	146.4%	109,999	予算計上79名中 75名(複数5名+寄付 含)
維持会員	420,000	480,000	114.3%	60,000	全会員納入(寄付含む)
事業収入	195,000	0	0.0%	-195,000	計画イベント未実施(開催0)
雑収入	0	33		33	口座利息
収 入 合 計	852,000	827,032	97.1%	-24,968	
前 期 繰 越 金	3,432,522	3,432,522		0	
収入の部合計	4,284,522	4,259,554	99.4%	-24,968	
支出の部					
科 目	令和4年度予算額	令和4年度支出額	対予算 消化率	対予算 増減額	対予算増減額についての備考
1. 管理費					
通信運搬費 他	30,000	35,512	118.4%	-5,512	ZOOM+書類運搬等(書類運搬費等の増)
交通費	15,000	11,620	77.5%	3,380	実績値換算 事業分は各事業費へ計上
事務管理費等	100,000	121,819	121.8%	-21,819	会議資料等印刷送付、各種手続、慶弔費
雑費他	10,000	0	0.0%	10,000	
				0	
管理費合計	155,000	168,951	109.0%	-13,951	
2. 事業費					
イベント開催費	375,000	0	0.0%	375,000	個別3イベントの支出合算値□ 内は再掲
年末交流会	270,000	0	0.0%	270,000	
映画観賞会	45,000	0	0.0%	45,000	個別再掲計画イベント未実施(開催0)
料理(食事)会	60,000	0	0.0%	60,000	
友好親善(支払負担金等)	80,000	15,000	18.8%	65,000	ラ米会議参加費・ラ米協会会費
ホームページ維持管理費	100,000	87,610	87.6%	12,390	HPメンテ(SE作業費)、サーバー・ドメイン費
カントウタ発行費	200,000	183,497	91.7%	16,503	年間4回発行 + 臨時バックナンバー
事業費合計	755,000	286,107	37.9%	468,893	年間 全イベント未実施 支出0円
3. 予備費					
予備費	50,000	0	0.0%	50,000	
支 出 合 計	960,000	455,058	47.4%	504,942	
次 期 繰 越 額	3,324,522	3,804,496	114.4%	479,974	
支出の部合計	4,284,522	4,259,554	99.4%	24,968	

## 貸借対照表

R4年度末収支計算書(2/2)			
一般社団法人 日本ポリビア協会			
貸借対照表 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)			
資産の部			
現金			0
預金			3,804,496
資産合計			3,804,496
負債の部			
未払金			0
負債合計			0
正味財産の部			
正味財産			3,804,496
(内当期正味財産増減)			371,974
負債及び正味財産合計			3,804,496
財産目録 (令和4年3月31日)			
資産の部			
現金			0
預金			3,804,496
三菱UFJ銀行	3,515,137		
ゆうちょ銀行	289,359		
資産合計			3,804,496
負債の部			
未払金			0
負債合計			0
正味財産			3,804,496
財産増減計算書 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)			
区分	期首残高	期末残高	増減
現金	0	0	0
預金 三菱UFJ銀行	3,237,176	3,515,137	277,961
ゆうちょ銀行	195,346	289,359	94,013
預金小計	3,432,522	3,804,496	371,974
合計	3,432,522	3,804,496	371,974

### Ⅲ 監査報告

#### 令和4年（2022年）度監査報告書

一般社団法人 日本ポリビア協会

会長 橋 秀洋 殿

私たち監事は、当協会の令和4年（2022年）4月1日から令和5年（2023年）3月31日までの令和4年度（2022年度）における日本ポリビア協会の活動について監査を行いました。その結果を一般社団法人及び、一般財団法人に関する法律99条第1項（一般社団法人、及び一般財団法人に関する法律197条において準用する同法99条第1項）及び、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第36条及び第45条（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則64条において準用する同規則36条及び45条）の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告します。

#### 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事からその職務について報告を受け、重要な決裁書類を閲覧し、当協会の業務及び財産の状況について調査しました。

上記の方法により、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

#### 2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録などの監査  
計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当協会の財産及び損益の状況を全て重要な点について適正に表示しているものと認めます。

令和5年（2023年）4月19日

監事

小林正博



監事

八木 哲



## 第2号議案

# 令和5年度（2023年） 事業計画及び予算書の件

## I 事業計画

### 1 基本方針

新型コロナウイルスについては5月8日には政府による感染症法上の第2類から第5類への緩和措置も取られて、社会全体として終息への流れが生まれつつある。ボリビアでは日本より早く昨年後半以降既に感染はほぼ終息している。このような状況の下で当協会でも漸く年間を通じて明確な活動方針を打出せる状況となったことを踏まえ、「ポストコロナ事業計画」を下記のとおり策定することとする。開催に当たっては関係組織・団体として、駐日ボリビア多民族国大使館・在日ボリビア人団体・日本外務省・在日ラテンアメリカ関係団体・ボリビアと関係が深い民間旅行代理店や輸出入貿易関係企業・当協会会員・在日ボリビア人関係者と連携を図りたい。

- ① 先ずは3年超に渡り自粛してきた自主企画イベントを再開し、会員相互のコミュニケーションを図ると同時に、ホームページ・SNS、会報等を通じてPRして、会員とボリビアに関心を寄せる一般個人層、特に若い世代の参加を促進するようにする。
- ② 日ボ両国の政府・民間企業・団体による政治・経済・社会・文化の各分野での活動と併行して、当協会も主として文化交流活動を通じて、これまで以上に両国の一般市民・民間企業・団体間の相互理解と友好親善を再び積極的に促進し、当協会の使命である民間における両国関係の発展・強化・促進を目指す。

### 2 具体的事業活動計画

#### (1) 自主企画イベントの復活

##### ① 年末交流会

楽しく食事しながら、フォルクローレを楽しみ、会員相互の親睦を深める。また懇親会の前に、ボリビアをめぐるアップトゥデイトなテーマで講師を招聘し、講演会を行う。

## ② ボリビア映画会

これまでボリビアの映画制作団体のウカマウグループの映画を上映し、関連映画を日本に紹介してきた太田昌国氏を招いて解説をしていただいていた。今年度も例年通り、ボリビアへの理解・関心を高めることを目的として上映会を企画するが、ウカマウ集団の作品も含めて、南米諸国の作品の上映も検討していく。

## ③ 南米料理を楽しむ会

南米（ボリビア等）料理を作ってみる、食べてみる、ことでボリビアに親しむ会。会員同士の親睦になると同時に、一般の料理に興味を持つ方、中南米文化に興味を持つ方に参加してもらい、協会を広く認知してもらうことを目的とする。

## (2) 会報 Cantuta の発行

「ボリビアと日本を繋ぐ企業・団体情報」をシリーズとして、ボリビアに関連する企業や団体の取り組みを取り上げていく。ボリビアの政治・経済・社会・文化に関するホットなニュースや学術研究情報を収集する体制を整備するとともに、寄稿者を広く募集する。渡邊英樹相談役の著書「ボリビア開拓記外伝」は琉球新報社のご協力でカントゥータに連載中であるが、特に在ボリビア・在日の日系人が読みやすいように全漢字ルビ付きで発行していて、大変好評である。

## (3) ホームページ、SNS を活用した発信力の強化

協会において収集整備した情報を速やかに、HP を通じて公開する。SNS（Twitter、Instagram、Facebook）の日本ボリビア協会公式アカウントを通じた発信を行う。会員のみならず、広く一般個人・企業・団体へ訴求できるようにし、日本ボリビア協会の認知を高め、興味のある人々、企業の参加を促進できるようにする。

## (4) ボリビア関係情報の提供・支援体制の整備充実

日ボ両国でのコロナ感染の終息に伴い、観光やビジネスのための双方向での旅行訪問の活発化が予想されるため、それに不可欠な「感染症・風土病・病院・医薬品などの公衆衛生関係」「治安・安全・査証・入出国関係」



「ホテル・食事・交通通信関係」「貿易・投資・企業進出関係」などの分野での情報提供と支援体制を整備する。

このため、日ボ両国の政府・大使館・会員の旅行代理店・JICA/JETRO/商工会議所・大学病院・弁護士事務所・民間企業団体などと連携して両国の個人・企業を支援する。

#### **(5) 在日ボリビア人コミュニティ及び関係団体との連携協力促進**

在日ボリビア多民族国大使館、ボリビア人・日系ボリビア人、ボリビア移住帰国者やその集住地域と連携し、各コミュニティの文化・スポーツイベントと積極的に交流を深めるとともに、各コミュニティ間の相互の交流促進にも協力する。

具体的には、在日ボリビア大使館主催の文化イベント、在日ボリビア人有志により各集住地域で開催される Bolivia Festival、Chagas 病の感染防止活動を行っている NPO 法人 Maiken による在日ボリビア人集住地への訪問集団検診、日本ラテンアメリカ文化交流協会の文化交流イベント Camino a LA、千葉県多古町まちづくり機構など。

#### **(6) 在ボリビア日系人社会との交流と活動支援**

新型コロナの終息により当協会役員・会員や関係者のボリビア訪問機会を増やして、ボリビア日系協会連合会とボリビア全国各地の日本人会など、在ボリビアの関係組織・団体や、各個人との友好親善関係の維持発展に努め、その活動を支援する。。

#### **(7) 日本のマスコミ・メディアのボリビア関係取材への協力**

ボリビア関係情報の提供を通じて、日本のマスコミ・メディアへのボリビアに関する P R 広報を働きかけ、日本におけるボリビアの文化・社会・経済・政治への理解や認識の向上を図る。

#### **(8) ボリビアを含むラテンアメリカ関係団体との連携協力**

日本ラテンアメリカ協会をはじめ在日ラテンアメリカ関係諸団体と、相互に情報を共有し、連携協力を進める。

## Ⅱ 予算書

令和5(2023)年度予算書				
一般社団法人 日本ボリビア協会 (令和5年4月1日-令和6年3月31日 単位:円)				
収入の部				
科 目	令和4年度 予算(参考)	令和4年度 収入(参考)	令和5年度予算額	備考
会費収入	657,000	826,999	432,000	[ ] の内訳再掲合算
個人会員	237,000	346,999	252,000	84 個人会員
維持会員	420,000	480,000	180,000	5 維持会員
事業収入	195,000	0	215,000	個別3イベントの収入合算値 [ ] 内は再掲
年末交流会	130,000	0	150,000	]
映画観賞会	20,000	0	20,000	
料理(食事)会	45,000	0	45,000	
雑収入	0	33	30	
収入合計	852,000	827,032	647,030	
前期繰越金	3,432,522	3,432,522	3,804,496	
収入の部合計	4,284,522	4,259,554	4,451,526	
支出の部				
科 目	令和4年度 予算(参考)	令和4年度 支出(参考)	令和5年度予算額	備考
1. 管理費				
通信運搬費 他	30,000	35,512	25,000	
交通費	15,000	11,620	10,000	
事務管理費等	100,000	121,819	80,000	
雑費他	10,000	0	10,000	
管理費合計	155,000	168,951	125,000	
2. 事業費				
イベント開催費	375,000	0	305,000	個別3計画の算定合算値 [ ] 内は再掲
年末交流会	270,000	0	200,000	]
映画観賞会	45,000	0	45,000	
料理(食事)会	60,000	0	60,000	
友好親善(支払負担金等)	80,000	15,000	50,000	他団体行事への参加費用・会費等
ホームページ維持管理費	100,000	87,610	90,000	年間HP SE作業費とホームページ管理費含む
カントウタ発行費	200,000	183,497	160,000	年4回発行
事業費合計	755,000	286,107	605,000	
3. 予備費				
予備費	50,000	0	20,000	不測の事態に備え計上する
支出合計	960,000	455,058	750,000	
次期繰越金	3,324,522	3,804,496	3,701,526	単年度収支 -102,970
支出の部合計	4,284,522	4,259,554	4,451,526	

### 第3号議案

## 役員一部退任及びそれに伴う補充選任案承認の件

退任

理事 椿 賢一郎

選任

理事 大川 裕司

以上敬称略

### 第4号議案

## 令和4年度（2022年度）会員入退会報告の件

#### ◆令和3年度末（2022年3月31日）

個人会員 87名（修正）

維持（法人）会員 6社 計93

#### ◆令和4年度入退会状況

##### 入会

個人会員 3名

維持（法人）会員 0社

##### 退会

個人会員 6名

維持（法人）会員 0社

令和4年度会員増減 —3

#### ◆令和4年度末（2023年3月31日）

個人会員 84名

維持（法人）会員 6社 計90

名誉会員 木村翰由、嘉手苺義男 2名

以上